

協働会議 委員の皆様のご意見から

・所長の方針を全職員が同じ方向を向いてどの団体にもどの世代に対してともよくやってくれていると思う。今後仮に、施設の在り方が変わっていったとしてもこのマインドはそのままに継続してほしい。

・利用した際、職員の温かな対応に、所長が話したように人と人とのかかわりから生まれる幸福感を感じ、嬉しい時間を過ごさせてもらった。楽しい体験後は心が動くので子どもたちから進んで話す姿が見られた。今後も子どもたちのために私たちも協力していきたい。

・人が変わっても声かけや見守る姿勢がしっかり受け継がれている。小さな子からシニア層まで訪れる施設。例えばオカリナ音楽祭に子どもたちも参加したり、みんなで演奏したりする場があると嬉しい。

・夏の野外研修でお世話になっている。本団体の中学生のリーダー会で行う夏季研修で、来場者を楽しませる企画の提案について自然の家の職員とバトルしてみようというのはどうだろうか。

・開設当時この施設がなぜ開設したのかを考えた時、現在のような冬季閉鎖等年間を通して活用できないのは当初の目標に繋がっているのかなと思う。予算措置等、生涯学習課で何とか尽力してほしい。

・対応の誠実さで勝負するなど、教育の本質的なねらいを追求していこうとしているのが分かる。今後は魅力的なプログラムを開発し新規利用者の開拓とリピーターの増加に向けて取り組んでほしい。

5月25日に長岐公二教育長を会長とし、新たに2名の委員をお迎えして、全10名の新体制の下、令和8年度第1回大館少年自然の家協働会議を開催することができました。

この協働会議は平成30年に本所の持続的な運営を可能とするために設置された会議であり、当日は各委員の皆様から令和8年度の経営方針等につきまして承認していただきました。また、様々な立場からこ

大館少年自然の家 協働会議から

れまでの取組に対する評価や運営等に関しまして前向きで温かいご意見をたくさんいただきました。

現在本所では「みんなが笑顔 幸せ(Shinsei)」になるわんパーク大館」というビジョンを策定して進めてきております。その上で、今年度はその達成に向けて、52年目を迎え、大館少年自然の家のこれから先に求められるもの」をテーマとして協議を行いました。委員の皆様からは今後につながるご意見をたくさんいただくことができました。これからも、常に新鮮な気持ちをもって職員一同尽力して参りたいと思います。

皆様に愛されて52年

わんパーク大館

52年目もよろしく
お願いします。

大ちゃんです。

フェイスブックはこちら

電話 0186-43-3174
FAX 0186-43-3175

大館少年自然の家Facebook

大館少年自然の家 大館市東字岩神沢31

発行責任者 所長 田村 新一



能代一中の野外炊事(カレー)



十和田中のシューマイじゃんけん

団体の宿泊開始!

5月14日に能代市立能代第一中学校の2年生を迎え、今年度の団体の宿泊が開始されました。また5月26日から28日にかけて比内支援学校高等部2年生、高等部1年生、鹿角市立十和田中学校1年生が訪れ、鳳凰山登山やA・P、野外炊事などの活動に取り組みました。どの学校の生徒も仲間と協力しながら元気に活動しました。体験をおして学んだことを今後の学校生活にぜひ生かしてほしいです。

5月20日、県子ども支援課主催の幼稚園・保育所・認定こども園等新規採用者研修が開催されました。今回は16名の保育士、保育会に参加しました。この研修会に参加した方は、AIY前のA・Pでは、AIYスプレイングなどのアクティビティを進めることに加え、お互いに打ち解けるなど、笑顔で盛り上がりました。午後から実施したジャパンの2種類のアクティビティでは、課題を解決するためのアイデアを出しながら次々とミッションをクリアする姿もたくさん見られました。今回の研修で出会った仲間との交流を深めたいと思っております。

新しい正規採用者研修

今年度も、年間3回の予定で開催するアウトドアスクールが始まりました。幼児(年長)から小学校3年生までの子どもたちを対象に5月から8月まで行う主催事業です。今回は鹿角市、大館市、北秋田市から30名の申し込みがありました。この事業は以前から継続して参加している子どもも多く、家族から離れ、学校も年齢も異なる仲間たちと一緒に集団活動を通して、様々な自然体験ができることが魅力だと思っております。第1回目に当たる今回は

アウトドアスクール

5月23日に実施しました。やや緊張気味だった子どもたちも、交流ゲームで一気に盛り上がり、あつという間に仲良くなったいきましく。お昼ご飯も、早速、新しくできた友達と楽しく会話をしながらいただきました。

午後から行った岩神山登山でもお互いに声を掛け合いながら、みんなで協力して登り切ることができました。これからの野外活動の中で子どもたちがどんどん成長していく姿が見られるのが今から楽しみです。

5月の利用団体一覧(引率者数含む)

月日	利用団体	利用者数	備考
5/2	わんパーク大館まつり	84	主催事業
5/12	利用説明会2	21	主催事業
5/14	能代一中 2年	48	1泊2日
5/19	十二所保育園	12	日帰り
5/20	こども支援課新規採用者研修	21	日帰り
5/20	大館一中 2年 職場体験	5	日帰り
5/21	大館一中 2年 職場体験	5	日帰り
5/22	長木小 4年	41	出前講座
5/23	アウトドアスクール①	26	主催事業
5/26	比内支援学校高 2年	32	1泊2日
5/27	比内支援学校高 1年	29	1泊2日
5/28	十和田中 1年	61	1泊2日
5/29	有浦小 4年	96	出前講座
5/29	北陽中 1年	40	出前講座



みんな、笑顔で大盛り上がり!



誰かの役に立つ仕事を!

5月20日から2日間、大館市立第一中学校の2年生4名が職場体験学習として本所を訪れました。生徒たちは、誰かの役に立つ仕事をしようとするべく頑張りました。この学びが今後の生き方につながっていくことを期待しています。

職場体験学習



「こっち向いてお願い!」

「こんにちは!」よろしくお願ひします!今年も元気な子どもたちの声が玄関ホールに響く季節がやってきました。この活気に満たされた5月の風と相まって心地よい。▼昨年度利用した団体からこのような言葉をいただいた。「子どもたち一人一人の個性を理解して対応してください。ありがたいございました。たいへん魅力的な職員の方々ばかりで、たった2日間でしたが、子どもたちは職員の方々の皆さんをみんな大好きになりました!」▼このように嬉しい言葉に「かわわり」の大切さを改めて実感しました。▼自然の中の体験活動や仲間との交流に、私たちが「かわわり」を交えながら子どもたちや先生方の笑顔を引き出せたら!と思っております。▼「まるで親戚の家に来たような安心感」そのように表現してくださった団体もあつた。▼52年目を迎え、これからも、なお求められる施設を目指して、一人ひとりと「かわわり」から生まれる笑顔と「幸福感」を今年度もみんなでつくりだしていきたい。

【所長】

わんパークの窓から